

2021 年度ろうあ運動宣言

新型コロナウイルス感染症拡大は、日本だけでなく世界中の人々の生活に大きな影響を与え、これまで経験したことのない苦しい状況が1年以上続いています。連盟の各種行事の中止だけでなく、ろう者の生活自体も大きく変わり、これまでの活動の原点でもあった「仲間に会う」「仲間と集う」「仲間と手話言語で語らう」ことができなくなりました。

連盟は昨年、「新型コロナウイルス危機管理対策本部」を立ち上げ、コロナ禍での様々な施策において、ろう者の人権を守る要望や取り組みを続けてきました。社会情勢が厳しさを増すとき、きこえない私たちは無意識のうちに社会から取り残されてしまうことが多々あります。ろうあ運動は困難な時にこそその力を発揮するものですが、それは会員の皆さまや加盟団体の皆さまから多大なるご協力をいただき、支えがあって初めて実現できました。

この思いを胸に、仲間たちと力を合わせて、「新しい生活様式」の中で生じる困難に1つ1つ対応し、問題に取り組んでいくことを大切にしていきます。

今年は、未曾有の大災害となった東日本大震災の発生から10年となる節目の年です。多くの仲間の尊い命が失われ、災害の恐ろしさ、災害時の情報の大切さについて身をもって知った出来事でした。その後も熊本地震や台風19号での水害など、多くの災害が発生しましたが、震災後10年となる今でも災害等の緊急時には、きこえない人・きこえにくい人は十分な情報が得られず、命が脅かされかねない状況になることは変わっていません。コロナ禍での防災対策や発災時の情報保障を含む災害支援について、さらに取り組んでいきます。

そして、きこえない人・きこえにくい人が手話言語及び文字を介して電話を利用できる「電話リレーサービス」が国の公的制度として2021年7月から始まります。私たちの生活は時代とともにより変化していきますが、引き続き手話言語が音声言語と同等であるという認識を社会に広げていかなければなりません。

きこえない・きこえにくい・きこえる仲間たちと一緒に困難に立ち向かい、繋がりを心から感じられる真の共生社会を実現するために、これからもろうあ運動を続けていくことを宣言します。

2021年6月12日

全日本ろうあ連盟 第9回（通算第72回）評議員会